

2020（令和2）年度

# 日本対がん協会賞 受賞

（公財）北海道対がん協会

細胞診センター前所長 藤田 博正



写真提供：日本対がん協会

日本対がん協会会長 垣添 忠生 氏  
細胞診センター前所長 藤田 博正

当協会細胞診センター藤田博正前所長が公益財団法人日本対がん協会から、「対がん活動に顕著な功績」を讃えられ2020（令和2）年度 日本対がん協会賞を受賞いたしました。

藤田医師は、1977年に北里大学医学部卒業後、北海道大学医学部をはじめ札幌市内の医療機関で臨床医として、婦人科がんの診療・治療に当たる一方、北海道対がん協会の子宮頸がん検診巡回検診に検診医として、がん検診に携わってきました。

2003年に当協会細胞診センター所長に着任。施設及び巡回検診で、多くの子宮頸がん検診に従事し、所長として細胞検査士の育成や液状化細胞診の導入など、子宮頸がん検診推進、精度管理の充実、向上に努めてきました。

がん検診に携わる中、北海道の子宮がん検診においては、受診率、精密検査受診率の向上が重要課題と考え、当協会の検診実績を活用し、細胞診とHPV-DNA検査の併用や自己採取HPV検査の活用法の研究など、広大な北海道で有効な子宮頸がん検診を実施していくための研究を精力的に続けてきました。

また、子宮頸がん検診の推進には、がん検診に係る正しい知識の普及が必須と、全道各地に出向いて子宮頸がん検診関係者や住民に向け講演等を継続して行い、特に若い世代に向けての予防啓発・啓蒙活動に尽力してきました。

細胞診専門医として日本臨床細胞学会が主催する細胞診断学セミナーの講師を長く勤め、北海道大学大学院生の医学博士論文の取得の指導をし、後進の育成にも注力しました。

## 略歴

1977年 北里大学医学部卒業後、北海道大学医学部産婦人科教室入局  
市立札幌病院、国家公務員共済札幌南病院等で勤務  
2003年4月～2020年3月、北海道対がん協会細胞診センター所長

## 専門医認定等

日本産婦人科学会専門医、細胞診専門医認定  
北海道臨床細胞学会理事（2003年4月～2019年3月）

## 研究活動等実績

- ・ HPV検査導入による新たな子宮頸がん検診の確立と受診率向上に及ぼす効果の検証
- ・ 北海道におけるHPV併用検診における臨床研究
- ・ 子宮頸部自己採取法によるHPV核酸検出の検体保全に関する臨床研究